

## 令和5年11月三田市教育委員会定例会会議録

### ○開催日及び場所

令和5年11月27日（月）午後2時00分開会  
午後2時58分閉会  
三田市役所 南分館 601会議室

### ○議事日程

日程第1	開会	
日程第2	前回会議録の報告、承認	
日程第3	会議録署名委員指名	
日程第4	会期の決定	
日程第5	教育長の報告	
日程第6	議事	議案第30号
日程第7	報告事項	報告第29号から第31号
日程第8	その他	

### ○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中上之仁	4番	中野文雄
5番	三木尚美		

### ○説明のため出席した者（10名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部参事	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	教育総務課担当課長	久保修一
学校再編課長	上野樹	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	小山恵介
学校給食課長	廣瀬敏彦	文化スポーツ課長	下山一彦

### ○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	細見和孝
小学校校長会代表	福本八重歌

### ○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課	靱井清陽
	清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第1 開 会

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和5年11月第299回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

(令和5年10月25日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。  
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。  
会議録署名委員は、2番 大野裕己 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和5年11月27日月曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

11月に入り、本格的に秋を感じるとともに、確実に冬が近づいていることを、朝夕の冷え込みから実感するようになって

てきました。先日の報道にもありましたが、三田市のインフルエンザウイルスに感染した児童生徒が、昨年の1人から今年はずでに1, 100人を超えており、市内小中学校では毎日学級閉鎖が発生しております。

本来なら、これからインフルエンザの季節を迎えるにあたり、子どもたちの学校生活について心配するところですが、これまでの3年間の新型コロナウイルス感染症対策の徹底により、インフルエンザウイルスへの免疫を持っていないとは言え、9月から11月の感染者数の増加は異常だと言えます。引き続き基本的な感染症対策を徹底し、手洗い・うがい・マスクの着用・適切な換気に努め、子どもたちがより安心して学べる学校となるよう努めて行きたいと思っています。

それでは、前回の定例会以降の私の活動について報告させていただきます。

#### 1) 近畿都市教育長協議会(10/26)

1点目は、10月26日大阪市天王寺区で開催された近畿都市教育長協議会です。秋は研究協議会ということで、大阪教育大学副学長の藤井先生から『「くじけない力」を育む～コロナの教訓と未来教育に向けた取組～』と題して、新型コロナウイルス感染症という想定外ともいえる状況乗り越えてきた子どもたちの、これからの育成について講演いただきました。各都市の事例発表では、京都府八幡市、大阪府池田市、奈良県桜井市よりそれぞれの教育委員会での取組の発表がありました。

#### 2) 小野小学校、母子小学校創立150周年記念事業

(10/28、11/23)

2点目は、三田市内で最も古い小学校である、小野小学校と母子小学校の創立150周年記念式典です。明治6年、日本の学校制度の始まり当時から創設された学校として、今年150周年を迎えました。小野小学校は10月28日に小学校の音楽会にあわせて開催され、最後にひまわりの種を風船につけて子どもたちと参加者全員で飛ばしました。小野では2年前から地域を挙げて150周年を冠にした取組を進めてこられました。その集大成といえる式典でした。

母子小学校は11月23日、小学校の「芸術の集い」として子どもたちの神楽や劇、音楽と全校生14人の熱のこもった発表、そして先生、保護者、卒業生のみなさんによるスペシ

ャルステージ、最後に記念植樹を行いました。

いずれも小規模校ではありますが、地域とともにある学校として、これからもご支援いただきたいと思います。

### 3) 阪神7市1町教育委員会連合会研修会(10/31)

3点目は、10月31日宝塚市で開催された阪神7市1町教育委員会連合会の研修会です。今回は宝塚市のICT環境、特に子どもたちの学習系の授業用と、先生の校務支援系を一本化したシステムで運用されていることの報告と、研修会では、公立の東京麴町中学校で大きな話題となった、工藤校長の講演会がオンラインで開催されました。工藤校長は、現在横浜の創英中学校・高等学校校長として活躍されており、先生のこれまでの学校現場でのご苦労も含めた様々な取組、改革についてお話を聞きました。有意義な時間となりました。

### 4) 中学校英語暗唱大会(11/4)

4点目は、11月4日ウッディタウン市民センターで行われた第11回中学校英語暗唱大会です。今年も、各学校から選ばれた1年生から3年生までの中学生18名が参加し、与えられた課題の暗唱を披露してくれました。例年通り、身振り手振りを交えた素晴らしい暗唱で、一人も詰まることなく流暢な英語を聞かせてくれました。

今年のグランドチャンピオンには中学1年生が選ばれました。小学校からの積み上げの賜物であると思います。中学校生活はまだまだあるので、その力をさらに伸ばしてほしいと思います。

### 5) 中学校音楽会(11/7) 小学校連合音楽会(11/10)

5点目は、中学校と小学校の音楽会です。11月7日午後には、市内中学校の代表が集まる中学校音楽会が郷の音ホールで開催されました。今年はインフルエンザウイルス等の感染が拡大し、出場の予選といえる各学校での文化祭が延期されたところもあり、本番7日の前日に文化祭を行った学校もあるなど、異例のスケジュールだったと思いますが、各校とも素晴らしい歌声を聞かせてくれました。

また、11月10日には市内小学校の4年生を中心とした連合音楽会が郷の音ホールで開催されました。こちらもインフルエンザウイルスの影響が心配されましたが、無事に開催できて良かったと思います。

各小学校で保護者の皆さんに披露した歌やリコーダー奏など

を、郷の音ホールという素晴らしい舞台上、仲間とともに歌い演奏できたことは、子どもたちにとっても良い思い出となったと思います。

6) トライやる・ウィーク推進協議会(11/10)

6点目は、11月10日に実施したトライやる・ウィーク推進協議会です。本年度は例年通り5月末から6月はじめに開催することが出来ました。その結果について、生徒・保護者及び協力事業者の皆さんのアンケートを中心に、今年の実施の評価と来年度に向けた方向性について、自治会や商工会、JA、福祉関係者、幼・小・中の学校関係者等の委員の皆さんからご意見をいただきました。

トライやる・ウィークも来年で27年目を迎えます。中学2年生にとっては将来を考える重要な経験ですので、今後も各関係者の皆さんと連携しながら、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

7) 三田市防災訓練(11/11)

7点目は、11月11日土曜日に志手原小学校を会場として実施された、三田市の総合防災訓練です。例年通り子どもたちの参加もあり、避難訓練や初期消火訓練、避難所運営訓練、土嚢積訓練、救出救助訓練などを実施しました。これらの訓練は、毎年の積み重ねが重要であり、万が一の災害にも落ち着いて対応できるよう、日ごろから心がけておくことが大切です。

8) 田村市長と教育委員との懇談会(11/13)

8点目は、11月13日教育委員の皆さんにもご参加いただいた田村市長との懇談会です。新市長となられてから日程調整に苦慮していましたが、初めて懇談することができました。

田村市長の教育に対する思い等について話し合いができて良かったと思っています。今後、総合教育会議等で協議する機会もありますのでよろしくお願いします。

9) 部活動の地域移行に向けた推進委員会(11/17)

9点目は、11月17日に開催されました中学校部活動の地域移行についてご意見をいただく推進委員会です。今回は、フラワータウンの富士・狭間中学校での剣道部の休日の活動の地域移行が、12月1日から実施されるとの報告と、今後

の移行された地域クラブ活動の運営に関する三田市としてのガイドライン案を提案しました。

また、令和6年度に向けた取組について、市教委としての案も提案させていただきました。協議では、運動部活だけでなく吹奏楽が主となる文化部の地域移行の方針等について意見が出されました。課題が山積みであることを理解する中で、令和8年度には休日部活動の地域移行をゴールとしていることを、学校現場の先生を始め、生徒や保護者にも十分ご理解いただき、「こんなことがあるので到底無理」といったできない理由を議論するのではなく、このような方策であるなら可能ではないか、こんなことを考えてほしい、といったできる議論を重ねて行かなければならないと思ったところです。第一段階のゴールまであと2年ですが、必ずできるとの強い意志のもとで進めていきたいと思っています。

#### 10) 理科生活科・自由研究作品表彰式(11/18)

10点目は、夏休みの課題提出であった、小学校の理科・生活科の作品、中学校の自由研究の作品の優秀者への表彰式を、11月18日ウッディタウン市民センターで行いました。

9月から10月にかけて人と自然の博物館で展示させていただき、小・中学校それぞれの作品の審査をした結果、主に物理・化学分野の表彰である川本幸民賞と、生物・地学分野の教育長賞を、それぞれ中学生2作品、小学生3作品、計10人に表彰し、別に審査員特別賞を2人に贈りました。

毎年、研究テーマを十分練り、実験や観察結果をわかりやすくまとめた、素晴らしい作品を出してくれています。来年も期待しています。

#### 11) 12月市議会初日(11/24)

最後は、12月の定例市議会です。11月24日が初日でしたが、既に報道されておりますように、懸案となっていた三田市民病院の再編統合について、市長からは、これまで進めてきた路線で再編統合を進めると強い意思を表明されました。再編統合の白紙撤回を公約とされていましたが、市長として市民の意見を聞き直し、熟慮の結果、神戸市北区での再編統合を決断されました。

市議会は12月25日までの日程ですが、教育委員会からも予算案件と条例案件を提案しております。また、一般質問もあると考えますので、丁寧に説明と答弁をしていきたいと思

います。

以上 11 点の報告です。

来週から 12 月に入ります。今年もあと 1 か月となりました。2 学期もわずかとなってきましたが、今年 1 年間の整理とともに、義務教育最終年の中学 3 年生は、将来の進路決定の大詰となります。一人一人に寄り添った進路指導を行っていきたいと思っています。

私からの報告は以上です。

## 日程第 6 議 事

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 県費負担教職員のサービスの監督その他人事の一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第 1 条第 6 号関係】

議案第 30 号「令和 6 年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課担当  
課長 (久保 修一)

議案第 30 号「令和 6 年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明

○教育委員  
(中野 文雄)

学校訪問させていただく中で、各学校が抱える課題がたくさんあると感じました。生徒指導上の課題、特に不登校を含む子どもたちの心理的な課題等について市の施策が出される中で、学校現場においてそれをどう効果的に活用していくかを考えた時、教職員個人のマンパワーでは解決できない状況が多いと思います。そういう課題に対して組織的に取り組めるような人事をしっかりとしていかなければならないと思います。勤務年数等数字だけで人事異動を行うのではなく、校長会と連携しながら、校長ヒヤリング等でどのような課題があるのかをしっかりと聞き取っていただけるようお願いいたします。また、現在は全国的に教員を志望する人材がどんどん減っている状況です。今後、一人一人の教員をどう成長させるのかという人材育成への視点も人事には必要だと思います。配置されている各学校の先生を、三田市の大切な先生として育てていただくことが大事だと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かご意見等ございますか。  
なければこのように承認します。

## 日程第7 報 告 事 項

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。  
報告第29号「三田市立図書館の管理に係る指定候補者の決定について」事務局より説明をお願いします。

○文化スポーツ課  
長(下山 一彦)

報告第29号「三田市立図書館の管理に係る指定候補者の決定について」事務局より説明

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。  
何かご意見ご質問等ございますか。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

今後5年間でこれまでにない新しい市民サービスについては、郵便局での貸出サービスになりますか。

○文化スポーツ課  
長(下山 一彦)

郵便局での貸出だけでなく、カフェスペースを活用したイベント等の取組を多く取り入れられています。外国人や高齢者を対象としたイベントや、障害者の方や子どもたちなど幅広く市民の方にご利用いただけるよう工夫されており、新しい講座では、育児相談イベントや健康づくり講座等、今までされていない講座も予定されています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

小・中学校で利用できる電子図書はありますか。

○文化スポーツ課  
長(下山 一彦)

電子図書の利用を普及するような体験会を予定されてます。

○教育長

学校ではいつから利用できますか。



(鹿嶽 昌功)

○教育研修所長  
(小山 恵介)

現在、すずかけ台小学校で1年生から6年生までが試験的に電子図書の利用を始めています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

今後5年間の見通しとして、例えば市内小・中学校全校で電子図書の利用が可能になるなど予定はありますか。

○教育研修所長  
(小山 恵介)

すずかけ台小学校からは電子図書の利用について大変効果的であるとアンケート結果が出ていますので、このような結果をもとに、市内小・中学校へも広げていきたいと思えます。使用できる対象等については今後検討して詳細を決めていく必要があると考えています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

電子図書の利用推進は学校側からのアプローチなのか、市立図書館側からのアプローチなのかどちらですか。

○教育研修所長  
(小山 恵介)

市立図書館の方から電子図書のシステムについてのアプローチを学校へも呼びかけるところからスタートしています。

○教育委員  
(中野 文雄)

学校の司書の先生とは電子図書が始まることで、あらたな連携等がありますか。

○教育研修所長  
(小山 恵介)

市立図書館との連動した取組はまだ十分にできてないのが現状です。今回あらためて指定管理者が入りますので、教育委員会としましても文化スポーツ課と協力しながら連動できるような取組を進めていきたいと思えます。

○教育委員  
(中野 文雄)

候補者の方にそのような意識を持っていただけたらと思えます。本に興味を持って長く図書館を利用してもらうことや、本に触れることの大切さ等も候補者からしっかり学校へもアピールしてもらって、情報を提供していただくことがとても大事だと思えます。

○教育委員  
(大野 裕己)

すずかけ台小学校で先行して電子図書の利用が始まっており、一定の効果が得られていることですが、どのような効果が出ていますか。

○教育研修所長  
(小山 恵介)

現時点での効果としては、子どもたちが本に触れる機会を増やすことができていると感じています。小学校段階では多様な種類の本に触れることが必要と考えております。これまで図鑑ばかり見ていた子どもが文学にも興味を持ったりするなど、日常的に使用しているタブレット端末から、すぐに本が借りられるので多様な本に触れる機会が増えてきていると思います。また、中学生ぐらいになりますと、部活動等で忙しい中で、図書室に足を運ばなくても端末で本が借りられることで、これまで本を借りる機会の少なかった子が借りやすくなっていると思います。

一方で、学校司書からは触れる絵本等、紙による読書も重要なのではないかという意見もいただいております。子どもたちの発達段階に応じて電子図書の提供を進めていきたいと考えています。

○教育委員  
(大野 裕己)

教育委員会としては、こういった取組においても三田市教育振興基本計画に基づく子どもたちの資質能力の育成を意識することが大事だと思います。引き続き、効果検証も重ねながら取組を進めていき、指定管理候補者とも良い連携を図っていただけたらと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。  
それではこのように報告します。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第30号「令和5年度一般会計12月補正教育予算案の報告について」事務局から説明をお願いします。

○教育支援課長

報告第30号「令和5年度一般会計12月補正教育予算案の

- (市原 敦) 報告について」事務局から説明
- 教育長  
(鹿嶽 昌功) 何かご質問等ございますか。
- 教育委員  
(中野 文雄) 現在、実施している事業者がそのまま継続されるのですか。
- 教育長  
(鹿嶽 昌功) これまでは市内の事業者でしたが、今回は新しい事業者になります。
- 教育委員  
(中野 文雄) 看護師派遣ということは、看護師もタクシーに同乗することになりますが、その会社が委託している看護師ということですか。
- 教育長  
(鹿嶽 昌功) その事業者が雇用している看護師です。
- 教育委員  
(中野 文雄) 医療的ケアを必要とするお子さんの送迎は、安全面への配慮が一番大事になると思います。事業者との打ち合わせの中に保護者がどのように入っていけるか、そういう場を提供することも大事になってくると思います。  
来年度乗車予定の児童は3名とありますが、来年度以降、送迎を実施する子どもの範囲の拡充についても、将来的に考えていく必要があると思います。送迎の回数が増えれば、それだけリスクが増える可能性もありますので、事務局と事業者、保護者、学校、必要に応じては指導医、主治医等に意見を聞きながら安全面に配慮した運営の実施をお願いします。
- 教育長  
(鹿嶽 昌功) 他に何かご意見等ございますか。  
なければこのように報告します。
- 教育長  
(鹿嶽 昌功) 続きまして、報告第31号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

報告第31号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。  
なければこのように進めてまいりますので、12月もよろしくお願ひします。

### 日程第8 その他の報告

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

では、次回、12月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

12月教育委員会定例会の開催日時は令和5年12月21日(木)午後4時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくお願ひいたします。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。  
まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表  
(細見 和孝)

○学校行事について

教育委員会のご支援により、英語暗唱大会や理科自由研究作品展、中学校音楽会、書写・美術・ふれあい作品展など様々な学習成果を発表する機会をいただいていることに感謝をしております。

さて、校内におきましては、市内すべての中学校において、文化祭を無事実施できましたことを報告いたします。インフルエンザ感染症対策により、開催を数日延期した学校もありますが、生徒たちは、日頃の学習の成果を存分に発揮することができました。特に、クラスごとに取り組んだ合唱への意気込みはとて大きく、発表の直前までクラス一丸となって練習に励んでいました。その甲斐あって、どのクラスも見事な合唱を披露してくれました。我が子のクラスだけでなく、たくさんの発表を鑑賞された保護者の皆さんから、「心をひとつにして練習してきたことがよく分かります」「さすが3

年生という感じでした」「1年生の元気な歌声にうきうきした」「2年生は変声期の最中でも精いっぱい頑張っている」と、とても喜んでいただきました。文化祭の合唱コンクールを経て、11月7日の三田市中学校音楽会には各中学校を代表したクラスや学年が出場しました。お忙しい中、教育委員会からもご出席いただきありがとうございました。どの学校も3年生が代表として出場し、見事な合唱を発表してくれました。上手さを競うのではなく、「お互いのこれまでの頑張りを認め合い讃え合う」という雰囲気にも包まれ、感動的な音楽会となりました。

中学校は8校とも先週までに期末テストを終え、2学期もいよいよ残り4週間となりました。12月中に生徒会役員選挙を実施し、3学期からは2年生を中心とする新役員体制となります。また、3年生は進路先を決定する大切な懇談の時期を迎えます。感染症予防対策を継続し、教育活動をしっかりと行ってまいりたいと考えます。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

○小学校校長代表  
(福本 八重歌)

○音楽会・連合音楽会について

10月下旬から開催されていた各小学校の音楽会は、11月23日の母子小学校・けやき台小学校を最後に、全校が終了しました。10月に入ってからさらに感染者が増加したインフルエンザの影響で、学級閉鎖等、心配な状況も見られましたが、いずれの学校においても予定通りに実施することができました。4年ぶりに歌を歌った学校もあるなど、コロナ禍以前の音楽会が戻ってきたことにより、子どもたちのがんばりと成長を保護者とともに実感する充実した行事となりました。

また、11月10日には、4年ぶりの「連合音楽会」を郷の音ホールで開催することができました。大ホールいっぱい子どもたちの歌声やリコーダーの音色が響き渡りました。学校規模がさまざまな市内の小学校ですが、互いの学校のことを知る機会にもなり、参加した子どもたちにとっても、仲間と一緒にホールのステージで歌った経験は、きっと小学校生活のよい思い出として残っていくことと思います。お忙しい中、教育長をはじめ、教育委員の皆様にもお越しいただき、感謝申し上げます。

○児童生徒作品展について

11月18日～20日には、「児童・生徒作品展」をウッディタウン市民センターで開催しました。書写作品、絵画・造形作品等、本年度も子どもたちの力作が集まりました。私は20日に会場を訪れましたが、家族と一緒に作品を見に来ている子どもたちを見かけました。市内の特別支援学級の作品が集まった「ふれあい作品展」にも多くの方が来場してくださっていました。盛況のうちに本年度の作品展を終了することができました。

○研究発表会について

11月には6校が、12月以降にも9校が研究発表会を実施します。各校の校内研究の取組について、参加していただいた皆様よりさまざまな意見を頂戴しながら、授業改善、さらなる教育の充実を図ってまいりたいと思います。

2学期の終業式まで1か月を切りました。

子どもたち、そして教職員にとっても、実り多い2学期として締めくくることができるよう、日々の教育活動を進めてまいります。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。